

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日

(特定非営利活動法人こどもプロジェクト)

1. 事業の成果

2011年3月11日に発生した東日本大震災、および福島原発事故で被災し東京に避難している親子を福島県、及び復興庁事業として10年にわたり支援し、杉並区阿佐谷に避難親子の居場所リベルタを2017年に常設したが、そこで地域連携のためにこども食堂を始め2020年3月、新型コロナウイルス感染拡大の影響で学校が休校になり、子どもたちの緊急事態ととらえてこども食堂をテイクアウトにして集まってくる寄付食糧をパントリー配布したところ、参加者が3倍に増えた。その後感染の収束が見えない中、避難親子と地域のひとり親家庭に宅食を始めるにいたった。フードロスなどたくさんの食料が廃棄されている中、支援事業として大きく発展させるために東京の中央部である武蔵野市(成蹊大学)に広域フードバンク大型拠点をつくり、こども食堂とパントリーを防災の拠点として物流を整備するという政策提言を行った。2021年1月にフードバンクむさしの設立準備委員会が発足し、3月に武蔵野市吉祥寺にリベルタセカンドをオープン、成蹊生と武蔵野市在住の避難親子限定のパントリーをスタートした。コロナ感染に大きく社会が影響を受けた1年であり、新しい支援体制と市民社会の構築が急務となってきている。

2. 事業の実施に関する事

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	樹液対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
子どもの居場所づくり・奉仕体験事業	避難親子支援・交流カフェ運営・こども食堂等	令和2年4月～令和3年3月まで	東京都杉並区、武蔵野市	8名	子育て当事者、支援者10,000人	21,000
次世代育成支援対策推進事業	避難親子食育、玄米発酵調味料の普及	令和2年4月～令和3年3月まで	東京都内	3名	当事者300人	1,000
情報通信ネットワーク構築	HP,ブログ、FB等	令和2年4月～令和3年3月まで	インターネット上	2名	利用者1,000人	30

(2) 営利活動に係る事業 なし